

## 令和6年度第1回川口市朝日環境センター施設整備審議会 議事録

- 1 開催日時 令和6年8月23日（金）  
午後1時30分から午後3時00分まで
- 2 会 場 川口市役所第一本庁舎6階601大会議室
- 3 出席委員 (1) 川口市朝日環境センター施設整備審議会委員：14名  
市民 : 大塚委員  
学識経験者 : 八鍬会長、藤原副会長、橋詰委員  
民間団体からの選出者：田中委員、小林委員、林委員、藤田委員、  
石川委員、中原委員、浅羽委員、中村委員、  
上倉委員、今井委員  
  
(2) 事務局：17名  
須藤環境部長、佐藤資源循環課長、岩田環境施設課長、  
平山朝日環境センター所長、片岡リサイクルプラザ所長、  
塚平鳩ヶ谷衛生センター所長 他4名  
公益社団法人全国都市清掃会議 米村技術部課長、  
パンフィックコンサルタンツ株式会社 山崎技術課長 他5名
- 4 欠席委員 1名 大谷委員
- 5 傍 聴 人 4名
- 6 議 事 等 委嘱書交付  
会長、副会長の選任  
諮問  
議事  
(1) 審議会の会議公開等について  
(2) 審議会スケジュールについて  
(3) 事業概要について  
(4) 焼却処理残さの処理方針について  
(5) 余熱利用方法について  
(6) ごみ処理方式について

## 7 審議会議事録

|                   |                                                                    |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 1 開会              |                                                                    |
| 2 委嘱書交付           |                                                                    |
| 3 市長あいさつ          |                                                                    |
| 4 委員紹介            |                                                                    |
| 5 会長、副会長選任        |                                                                    |
| 6 諮問              |                                                                    |
| 7 議事              |                                                                    |
| (1) 審議会の会議公開等について |                                                                    |
| 事務局               | 資料1に基づき説明。                                                         |
| 議長                | 事務局から、会議の公開、傍聴手続き及び会議録の作成方法について説明があった。委員から意見等はあるか。                 |
| 委員                | 異議なし。                                                              |
| 議長                | それでは、当審議会は原則公開とし、傍聴手続きは原案のとおりとする。また、会議録は要点筆記として、発言者の氏名は記載しないものとする。 |
| 委員                | 天候などの理由で会場へ出向けない場合も考慮し、会議はWEBで開催することも検討していただきたい。                   |
| 事務局               | WEBでの会議開催について検討する。                                                 |
| (2) 審議会スケジュールについて |                                                                    |
| 事務局               | 資料2に基づき説明。                                                         |
| 委員                | 意見なし。                                                              |
| (3) 事業概要について      |                                                                    |

|                     |                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局                 | 資料 3 に基づき説明。                                                                                                                                                                                                |
| 委員                  | 意見なし。                                                                                                                                                                                                       |
| (4) 焼却処理残さの処理方針について |                                                                                                                                                                                                             |
| 事務局                 | 資料 4 に基づき説明。                                                                                                                                                                                                |
| 委員                  | 灰の資源化はバラエティに富んでいる。今後、PFI 導入可能性調査を行う過程で、マーケットサウンディングを行うと考えてよろしいか。                                                                                                                                            |
| 事務局                 | ご理解の通り、今後検討するごみ処理方式に応じて多様な組み合わせが想定される。そのため、PFI 導入可能性調査において市場調査を実施する。                                                                                                                                        |
| 議長                  | 事務局の説明では、焼却処理残さの処理方針については、「朝日環境センターを再整備した後も、ごみ処理方式に応じた資源化を推進する」とし、焼却残さの処理方法については、「ごみ処理方式やコストを考慮した最適な組み合わせとする」こととのことである。これら 2 点について異議はないか。                                                                   |
| 委員                  | 異議なし                                                                                                                                                                                                        |
| (5) 余熱利用方法について      |                                                                                                                                                                                                             |
| 事務局                 | 資料 5 に基づき説明。                                                                                                                                                                                                |
| 委員                  | サンアール朝日は多くの方が利用している。現施設の建設時の経緯と位置付けを伺いたい。また、周辺住民との今後の協議の流れについても伺いたい。                                                                                                                                        |
| 事務局                 | 本市では、朝日環境センターの建設について、周辺の町会や自治会の理解を得るために説明会等を行っていた。多くの意見をいただき、地元への還元施設としてサンアール朝日を整備するに至った経緯がある。この度の再整備については、周辺の町会長と自治会長で構成される朝日環境センター連絡協議会にて昨年度より説明を行ってきた。サンアール朝日のあり方については、同協議会を通じて周辺住民の意見を取り入れて検討したいと考えている。 |
| 議長                  | 余熱利用方法の基本方針は、「朝日環境センターの再整備後における余熱利用は、発電利用を第一とすること」、「災害時への備えをはじめとした新たなニーズにも応え得る施設整備を目指すこと」、そして「余熱利用方針について、周辺住民の意見を聴取し、施設整備基本計画に反映させること。」であるとの説明が事務局からあった。以上 3 点について異議はないか。                                   |
| 委員                  | 異議なし。                                                                                                                                                                                                       |

|                |                                                                                                                                  |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (6) ごみ処理方式について |                                                                                                                                  |
| 事務局            | 資料6「ごみ処理方式について」に基づき説明。                                                                                                           |
| 委員             | 資料の模式図のストーカ炉は階段式である。回転式や堅型等の別の方式は検討対象に含まれないのか。                                                                                   |
| 事務局            | 現段階では含めて検討を進めたいと考えている。                                                                                                           |
| 委員             | 承知した。誤解を招かないよう、代表例等の記載をお願いしたい。                                                                                                   |
| 事務局            | 拝承した。誤解を招かないよう、資料6を修正する。                                                                                                         |
| 委員             | 今回の再整備では、施設の中身のみを更新するのか、それとも更地にして新たな施設を建設するのか。                                                                                   |
| 事務局            | 現施設を解体し、更地にしたうえで新施設を建設する予定である。                                                                                                   |
| 委員             | 敷地面積一杯に施設を建設するのか。                                                                                                                |
| 事務局            | 施設規模は現施設より小さくなる。建屋も現施設より若干縮小できる見込みである。なお、リサイクルプラザ棟は継続利用するため、新設するのは焼却棟のみである。                                                      |
| 委員             | 南ストックヤードの建屋も継続利用するのか。                                                                                                            |
| 事務局            | 南ストックヤードはかなり老朽化が進んでおり、再整備が必要と考えている。整備方法等について今後検討する。                                                                              |
| 委員             | サンアール朝日の今後について、発電優先は良いが、プール施設はなくなってしまうということか。                                                                                    |
| 事務局            | リサイクルプラザ棟は継続利用する予定であるが、資料5で説明したとおり、サンアール朝日については、設備の老朽化や配管の劣化が進んでいるため、現状のまま継続利用することは困難である。今後のあり方については、周辺住民の意見を取り入れながら検討していく予定である。 |
| (7) その他        |                                                                                                                                  |
| 議長             | 全体を通して何か意見・質問はあるか。                                                                                                               |
| 委員             | 質問・意見特になし。                                                                                                                       |

|      |                                                                                                              |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 議長   | 他になければ本日の議事を終了とする。                                                                                           |
| 事務局  | 事務連絡となるが、次回の第2回審議会は、9月25日（水）14時より、朝日環境センターリサイクルプラザ棟にて開催となる。会議終了後に希望者を対象とした朝日環境センターの見学会を予定している。詳細は改めて委員に通知する。 |
| 8 閉会 |                                                                                                              |

会議の概要については、以上のとおりです。

令和6年9月20日

川口市朝日環境センター施設整備審議会

会 長.....八 楸 浩.....

委 員.....太 塚 美和子.....